2026 年 11 月 13 日
株式会社ミツエーリンクス

脆弱性に迷わず・遅れず対応できる体制を平時から整える「脆弱性対応フロー構築・運用」サービスをリリース

株式会社ミツエーリンクス（本社：東京都新宿区、代表取締役 CEO：東﨑 厚広、代表取締役 CTO：藤田 拓、以下「ミツエーリンクス」）は、「脆弱性対応フロー構築・運用」サービスをリリースしました。

Web サイトや Web システムを安全に運用し続けるためには、インシデントが発生した後の対応だけでなく、脆弱性が公表された段階から、自社への影響を確認し、対応の優先度を判断できる体制が必要です。

しかし、脆弱性情報を入手しても、確認方法や判断基準、関係者への連絡方法が決まっていなければ、迅速な対応にはつながりません。

本サービスでは、脆弱性情報の収集から影響確認、優先度判断、関係者への連絡、対応方針の決定までの流れを整理し、脆弱性に速やかに対応できる体制づくりと、継続的な運用を支援します。

サービス特長

脆弱性情報を入手した後の初動を迅速化

情報を入手した後の初動を円滑に進められるよう、平時にその手順を設計します。最初に確認する事項、共有する情報、担当者、承認者を明確にすることで、必要な対応を速やかに開始するための環境を整えます。

自社環境に即した判断基準を明確化

脆弱性の深刻度だけでなく、対象システムの重要度、外部公開の有無、利用状況、取り扱う情報の種類や重要性、事業への影響などを踏まえた判断基準を整理します。

役割と連絡経路を明確化

Web 運用担当、情報システム部門、セキュリティ部門、事業部門、委託先など、関係者それぞれの役割を整理します。担当者や承認者、連絡先を明確にし、緊急時であってもあらかじめ定めた連絡経路に沿って速やかに連携するための体制を整えます。

継続的な情報収集により見逃しを抑制

対象となる技術やシステムに関係する脆弱性情報を継続的に確認します。定期的な情報収集を運用に組み込むことで、「担当者が偶然気づく」ことに依存しない状態を目指します。ただし、すべての脆弱性情報の入手や、あらゆる被害の防止を保証するものではありません。対象とする技術やシステム、情報源、通知条件は、お客様との協議によって定めます。

サービスの詳細は、以下の URL よりご覧いただけます。
https://www.mitsue.co.jp/service/maintenance/vulnerability-response/response-flow.html

株式会社ミツエーリンクスについて

ミツエーリンクスは、顧客企業さまのビジネスを持続的発展に導く、コミュニケーション・デザイン・カンパニーです。

1990 年という IT 分野の幕開けともいえる時期から、デジタルコンテンツを中心に数々のユニークなサービスを提供。企業のマーケティング活動をデジタルメディアで実現し、また継続的に改善し続けるべく、コンテンツ（映像・音声を含む）および UI の企画・設計・実装、Web サイトの構築・運用を中心に、システム開発、アプリケーション開発、アクセシビリティ/ユーザビリティの向上、アクセス解析に至るまで、様々なサービスを包括的に提供しています。高い技術品質、プロセス品質、サービス品質と共に一連のサービスを有機的に統合し、企業・社会活動に貢献します。

また、ミツエーリンクスは、次の国内外規格を取得しています。
- 品質管理の国際規格 ISO9001（認証事業所：本社）
- 情報セキュリティ管理の国際規格 ISO27001/ISMS（認証事業所：本社）

- プライバシーマーク制度

当社についての詳細は、以下の Web サイトよりご覧いただけます。
ミツエーリンクス Web サイト：https://www.mitsue.co.jp/

〔商標〕記載されている会社名、製品名等の固有名詞は、各社の登録商標または商標です。

この件に関するお問い合わせ先

株式会社ミツエーリンクス
ブランドコミュニケーション部
三宅 祐子（ミヤケ ユウコ）
TEL：03-5937-2891
FAX：03-5937-9039
e-mail：release@mitsue.co.jp